

フードドライブポスト設置



設置されたフードドライブポストに食品を入れる子どもら
＝海津市平田町仏師川、市こども未来館「Z ù T T o」

海津市やバローHD 市内9カ所に

海津市と市社会福祉協議会、バローホールディングス(HD)は9日、市内9カ所に家庭で余った食料品を回収する「フードドライブポスト」を設置した。同

市平田町仏師川の市こども未来館「Z ù T T o(ずっと)」で式典があり、市オリジナルデザインのポストがお披露目された。

バローHDは各地の自治体や社会福祉協議会と連携し、2023年からフードドライブを推進。5月時点で全国500カ所以上にポストを設置している。取り組みに賛同した海津市は同協議会とともに覚書を締結した。

市内のVドラッグ南濃店や市役所、道の駅、温浴施設など計9カ所にポストを設置した。正面に市マスコットキャラクター「かいづっち」が描かれた市オリジナルデザイン。寄せられた食料品は同協議会が回収し、市内の家庭や子ども食堂の運営団体に届けられる。

式典で横川真澄市長は「誰一人取り残さない地域社会づくりの象徴となる取り組み」と期待を寄せた。同協議会の森廣美会長、バローHD管理本部サステナビリティ推進室の秋元武室長とともにテープカットで設置を祝い、地元園児と寄付のデモンストレーションも行った。

(浜田悠)